



用意する物（道具）

電子スケール・ヒートガン（大風量ドライヤー）・非接触温度計・ガムテープ
はさみ・竹串・ビニール手袋・ダンボール箱

材料

フチ波モールド・波専用レジン・着色剤（アクリル絵の具・パールマイカなど）
チャック袋・ガラスビーズ・ラメ・紙コップ・混ぜ棒

～作業前の準備～

レジンが服やテーブルにつくと取れなくなります。
テーブルにはビニールシートをかけ、スケールにもビニール袋をかけましょう。
エプロンや手袋を着用し、出来るだけ換気をした状態で作業するようにしましょう。

1.ガムテープでモールドの埃を取りながら、モールドにキズなどがいないか確認する

2.レジン混ぜる

主剤2:硬化剤1の割合で波専用レジン混ぜる。
レジン合計120g(主剤80g:硬化剤40g)
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

3.レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が42度～45度(熱いお風呂くらい)になるまで放置する。
硬化が遅い時はヒートガンでレジン温める。
ヒートガンで温める時は使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、1～2分後に計測。
温度が基準に入ったら次の工程へ。

4.レジンを取り分けて着色し、残りのレジンモールドに流す

色付け用レジン紙コップに10gを2つ取り分け、着色剤を混ぜる。
透明レジンはお好みでラメを混ぜる。

5.モールドのフチの気泡を取り、中心にガラスフレークを入れる

モールドのフチを竹串などでなぞり、気泡を取り除く。
ガラスフレークを中心に入れ、レジンに沈ませる。

6.10gに取り分けたレジンにそれぞれ色をつけ、チャック袋に入れる

それぞれの着色レジンチャック袋に入れ、端っこを切って絞り袋の様にする。

7.透明レジンの粘度を確認し、ハチミツくらいになったら円を描く

透明レジンの粘度がねっとりしているか確認する。緩いようなら時間を置いて粘度をつける。
中心から1色目⇒2色目⇒1色目と交互に円を描いていく。

8.ヒートガンで色付きレジンの線幅を太くするように内側に向かって風を当てる

レジンが温まってくると線が動きやすくなるので、いきなり線を動かさずとしない。
線幅が2～3mmになったら風をとめる。
※あとは自然にレジンが中心に向かって動くので奥行き感が出る。

9.竹串などで花びらと花びらの間に筋を通す

外側から内側に向かって線を引くように竹串を通す。
中心のガラスフレークに触らないように注意。
お好みで花卉の内側から外側に向かって竹串を通すと花びらの形が変わる。

11.約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないようにダンボールなどでカバーをする。
約2日後、完全に硬化したらモールドからはずす。



*こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます。
*レッスン内容は予告なく変更になる場合がございます。
*レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品などのご質問はお控えください。